

第46回 神奈川県青少年科学作文コンクール

第46回神奈川県青少年科学作文コンクールの表彰式ならびに記念科学講演会が、3月3日（日）14時から青少年センターで行われました。

表彰式の前に記念科学講演会が行われました。

講師：神奈川工科大学 創造工学部

ホームエレクトロニクス開発学科教授 金井徳兼氏

演題：エレクトロニクスと家電製品のしくみ

『生活を豊かにしてくれる家電製品の進歩は、われわれのライフスタイルを大きく変えていくかもしれません。こうした研究や取り組みには、ひたむきに目標に向かう勇気と積極さと柔軟な発想が必要です。失敗を恐れずがんばってもらいたい。』との励ましのメッセージを頂きました。



応募総数155点の中から、入選した26作品について各賞の表彰が行われました。

また、表彰後に「県知事賞」「みどりの保全・環境特別賞」を受賞した次の2作品の研究成果の発表が行われました。

「県知事賞」

作品名：アメンボはあめのおいがするのかわ

学校名：葉山町立上山口小学校

氏名：渡邊一登



「みどりの保全・環境特別賞」

作品名：土やコケにすむ土壤動物

～ 藤沢市の谷戸や神社、身近なコケの調査～

学校名：藤沢市立湘南台中学校

氏名：金子知代



神奈川県青少年科学体験活動推進協議会

総会

3月8日(金)14時より、県立青少年センター

研修室にて総会が開催されました。当日は、23団体の会員の皆様の出席を頂きました。今年度の事業報告、外部助成金決算報告に続いて平成25年度事業計画案が事務局より提示され承認されました。なお、平成25年度の協議会役員については、3月3日に行われた理事会で承認され、総会で報告しました。



<平成25年度 神奈川県青少年科学体験活動推進協議会役員>

役職	会員名・	役員名(職・氏名)
会長	神奈川県立青少年センター	館長 薄井 英男
副会長	東芝科学館	館長 中山 純史
副会長	神奈川工科大学	企画入学担当部長 石田 裕昭
理事	おもしろ科学たんけん工房	代表理事 安田 光一
理事	神奈川県環境科学センター	所長 塩谷 映雄
理事	神奈川県公立中学校教育研究会理科部会	会長 笠原 徹也
理事	神奈川県政策局総合政策部科学技術政策課	課長 平田 実
理事	(株)学研ホールディングス学研教育総合研究所	フェロー 安威 誠
理事	(株)テレビ神奈川	取締役報道局長 岩田 悦子
理事	横浜市立野毛山動物園	園長 市川 典良

研修会

総会后、15時30分から研修会として科学講演会を開催いたしました。今回は、独立行政法

人水産総合研究センター増養殖研究所の黒木洋明先生にお越し頂き、「海の生物の謎を探る～ウナギとマアナゴの産卵場の解明 資源の現状と適切な利用のために～」という演題でご講演をいただきました。

ニホンウナギの親探しの研究活動について、調査船によるダイナミックな試行錯誤の過程を分かりやすくお

話していただきました。ニホンウナギやマアナゴの生態には、まだまだ分かっていないことがたくさんあることを知りました。



懇親会

研修会后、青少年センター内レストラン「メルヘン」にて懇親会が行われました。おもしろ科学たんけん工房の島田祥生理事の乾杯の挨拶で始まり、和やかな雰囲気の中、会員同士の交流を深めることができました。

子どもサイエンスフェスティバル 平塚大会

2月23日(土)10時から子どもサイエンスフェスティバル平塚大会が開催され、会場となった平塚市青少年会館には814名の方々にご来場いただきました。今年度は10の団体等から出展があり、自然の不思議な現象、科学工作、サイエンスショーで楽しんでもらいました。

< ご出展いただいた協議会員のみなさま >

団体名	出展内容
富士フイルム(株) 神奈川工場	あっと驚く世界で一つの「カラー写真」を作ってみよう!
東芝科学館	サイエンスマジックショー
神奈川県温泉地学研究所	液状化現象を体験してみよう!
(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)	ロボットハンドをつくろう!
ほんままさこと紅葉ヶ丘無線クラブ	ふしぎな絵(字?)を作ろう! 無線を体験してみよう!



東芝科学館
サイエンスマジックショー



県立小田原城北工業高校
電気研究部
ブルブル ポン!!



県立平塚工科高校
電子工作遊園地



平塚市立金旭中学校
やってみなくちゃわからない
超科学実験



JAXA
(宇宙航空研究開発機構)
ロボットハンドをつくろう!



神奈川県温泉地学研究所
液状化現象を体験してみよう!



富士フイルム(株)神奈川工場
あっと驚く世界で一つの
「カラー写真」を作ってみよう！



ほんままさこ と
紅葉ヶ丘無線クラブ
ふしぎな絵(字?)を作ろう!
無線を体験してみよう!



(株)リコー-CSR室
熱闘!紙バトラー



県立相模原青陵高校
地球惑星科学部
神奈川の鉱物発見!

<参加者の感想> 子どもは終始喜々としていましたし、大人も童心に戻って子どもたちと楽しい時間を過ごさせて頂きました。とても楽しく勉強になりました。学生さん達がとても親切で楽しく説明してくださっていました。ありがとうございました。子どもの理科離れと言われていますが、どの子どもとも楽しそうで、好きになるキッカケになって欲しいと思うとともに、学校などでも取り入れられるものがあつたらいいのにな。熱闘紙バトラーで強い相手と戦って負けたけど楽しくてまたやってみたい。液状化現象は不思議だけど怖かった。カラー写真は時間がかかったけどできてうれしかった。JAXAでは紙コップで重いものが持ててビックリした。ペットボトルで噴水になっていて、電池もないのにびっくりした。サイエンスマジックショーはビックリしたことの連続で、科学ってすごいなあと言っていました。水で固まる砂もおもしろかった。無線とモールス信号のコーナーも良かった。神奈川県の鉱物発見のクイズが楽しかった。スロットが楽しかった。アルコール爆発の説明のお兄さんがわかりやすかった。

事務局より

本年度も協議会のみなさまには、さまざまなイベントや講座で大変お世話になりありがとうございました。来年度も青少年の科学体験活動を推進していくため、ご支援・ご協力をお願いいたします。ご意見・ご要望等ございましたら、事務局までご連絡願います。

本ニュースと一緒に送付した「平成25年度協議会名簿基本調査回答用紙」は、変更の有無に関わらず、4月12日(金)までにメール又はFAXにて回答をお願いいたします。

【問い合わせ先：神奈川県青少年科学体験活動推進協議会事務局 TEL 045-263-4470】